

ひもときシート

<事例概要シート>

タイトル:「旦那に叱られるから帰ります」と言い強く帰宅願望を訴えるみえ子さん

. 事例の状況 (300字程度)

みえ子さんは、当施設のショートステイを利用して3日経ちました。初日から毎日決まって夕方になると、「こんなことはしてられない、ご飯の支度をしないと、旦那に叱られるから帰ります。」と言って玄関にやってきます。介護職員や相談員が「自宅は売却してもう無くなってしまいました。」とか、「旦那さんは5年前にお亡くなりになりましたよ。」と説明しますが、その時は「あっ、そうだったわね」と言って納得し、食堂まで誘導すると自分の席に戻りますが、夕食が始まるまでに数分ごとに何度も同じことを繰り返します。「帰る」という言葉や行動は、夕方になると起きますが、日中は特にそのようなことをいいません。また、夜中もぐっすり休みます。

廊下に置いてある車いすを勝手に部屋に移動させたり、洗濯室にある汚れた洗濯物をかごから出して置いていたり、「ほら、こぼさないで食べなさいよ。」「みそ汁もちゃんと飲んでね。」など周囲にお節介なところがあります。男性利用者から「いちいち、うるせい!」と怒鳴られることがありました。しかし、みえ子さんは悪気がない様子です。

. 事例提供者の属性

職 種	介護職員
資 格	2級ヘルパー
役 職	なし
経験年数	2年目
性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
年 齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input checked="" type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上

. 提供者自身が感じている事例の課題

夕方の人手が少ない時間帯に繰り返し帰宅を訴えたり、他人への世話焼きでトラブルになる。洗濯物や箸、コップなども勝手に部屋に持って帰りたいんすに隠したりする。何度お願いしても、変わらないのでストレスになっている。

. 倫理的配慮

個人や団体が特定されないように配慮し、以下の者からの使用了解を得ている。

施設長 施設長以外の管理職 家族 本人 その他 ()

. 事例概要	
年齢・性別	(80 歳代後半 歳) <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
学歴・職歴	尋常小学校卒 製糸工場 専業主婦
家族構成	独り暮らし
認知機能	HDS - R 11点
要介護度	<input type="checkbox"/> 要支援2 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 認定外
日常生活自立度	障害老人自立度 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> J1 <input type="checkbox"/> J2 <input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2
	認知症老人自立度 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> M
ADLの状態	食事の様子 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	排泄の様子 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	移動の様子 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	着脱の様子 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	入浴の様子 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	整容の様子 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助
認知症の診断名	<input checked="" type="checkbox"/> アルツハイマー型認知症 <input type="checkbox"/> レビー小体型認知症 <input type="checkbox"/> 前頭側頭型認知症 <input type="checkbox"/> 血管性認知症 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 不明
現病・既往歴	【現病】 アルツハイマー型認知症 【既往歴】 5年前夫が脳内出血で突然死亡、本人はそれがきっかけでうつ状態になる。さらに1年ほど前から、物忘れが激しくなり近所に何度も電話をかけたり、スーパーで同じものを大量に買うなど異常が見られるようになる。
服用薬	アリセプト ユーロジン セルシン
コミュニケーション能力	理解力もありコミュニケーション能力は保たれている。
性格・気質	せっかち、おせっかい、細かいことは気にしない、おおらか

生きがい・趣味	料理をすること
生活歴	農家の5人兄弟の長女として生まれる。尋常小学校を卒業後は製糸工場に勤める工場ではラインの長をまかされるなど自他ともに仕事のできる人であった。19歳で見合いで2歳年上の男性と結婚、夫は結婚直後に満州に従軍する。終戦のちに夫は無事復員、その後トラックの運転手として働く。2度の流産の末、子供をもうけることはできず、夫の兄弟から養子をもらい受け大事に育てていたが、8歳の時に病死。その後は仕事をせずに専業主婦として長距離トラックの夫を支える。60歳の時に子宮がんを患い手術をする。それをきっかけに、精神状態が不安定になり家に引きこもることが多くなる。夫は65歳までトラック運転手し、67歳までビルの守衛などをして働く。夫の定年後は2人でのんびりと畑仕事をしながら暮らす。5年前夫が脳内出血で突然死亡、再びうつ状態になり1年ほど前から、物忘れが激しくなり近所に何度も電話をかけたり、スーパーで同じものを大量に買うなど異常が見られるようになり。民生委員が地域包括支援センターのケアマネジャーに相談しショートステイの利用が決まった。
人間関係	世話好きで、近所にも自分の作ったケーキやお菓子を配ったり、自治会の夏祭りで率先して焼きそばやカレーを作るのを手伝ったりしていた。体調不良の時は引きこもり人間関係や社会関係を避けていた時もあるが、夫と畑をするようになって、笑顔で暮らすようになった。夫は頑固でまじめ亭主関白、みえ子さんは夫の言うことを何でも「はいはい」と受け入れていた。
本人の意向	飯を作らなきゃ旦那にしかられるから帰る
事例の発生場所	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 <input type="checkbox"/> 介護療養型病床 <input type="checkbox"/> デイサービス <input type="checkbox"/> デイケア <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> グループホーム <input type="checkbox"/> 一般病棟 <input type="checkbox"/> 精神科病棟 <input type="checkbox"/> 地域 <input type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ショートステイ)

※ご記入にあたっては、以下の点についてご留意の上、表記していただくようお願いいたします。

①すべて「Aさん」に統一

②である調に統一

③年齢、職歴、地名、方言、本人や地域等が特定されないような配慮

(例) ●「72歳」→「70歳代前半」 ●「寿司職人」→「飲食店店員」 ●「千代田区」→「当地」「隣接地」「本県」 ●「あかん」→「だめだ」など